

1984 (昭和59年)

会員数55名

33代理事長

森分信二



この年、日本青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現というテーマから『行政改革』という現実的テーマをとりあげた。そこで、八幡浜青年会議所も、3年前より行っている行政改革の勉強を初め、昨年の市議会議員候補者へのアンケート調査、市議会傍聴、さらに市民アンケート等の調査内容を分析し押し進めるようになった。



市議会傍聴

また、理事者の人数等の問題があり継続中であった定款変更手続もこの年無事終えることができた。

恒例の新年合同祝賀会から始まり森分信二理事長のもと55名のメンバー一丸となって事業を消化していった。3月4日、昭和33年に『時間の励行』ということで立てた時計塔が、老齢と場所的な問題もあり取り壊すこととなった。しかし、この時計塔のおかげで八幡浜市民の時間的な感覚の悪い伝統であった『八幡浜時間』も一蹴され、26年という時間を刻んできた労もむくわれたことと思える。



26年の時を刻んで来た時計塔の解体

日本青年会議所がおすすすめた『三世代交流ゲートボール

大会』が行われ、八幡浜からは白浜Aチームが2月20日県大会に出場した。



第一回三世代交流ゲートボール大会

6月2日宇和高JCの創立30周年記念式典が執り行なわれた。当八幡浜JCがスポンサーJCということもあり、大勢のメンバーが出席しJCの友情を確かめあった。

7月、松山駐屯地の自衛隊に一日入隊というLD道場が行われた。日頃の不振生がたたり悲鳴を上げるメンバーが多かったが、思い出に残る委員会事業であった。メンバーの親睦、家族間の交流の目的で行われる家族会が諏訪崎で行われたのもこの月である。

8月には、青少年の一環である子供達を対象とした『JCサマースクール』を開催し、経営開発では企業訪問ということで広島東洋工業の視察に行った。

10月のお祭り村では、お祭り広場を主管し北浜の多目的広場で『史上最大YES, NOクイズ』と題し、優勝のグアム島旅行ペアご招待を競い5000名余りの市民を巻き込んだ大ゲームが行われた。仮装行列の日とも重なって北浜多目的広場は、かなりのフィーバーであった。公園前の道路では、『ちびっ子絵画展』『大迷路』『ウルトラマンとジャンケン』等、子供達を対象にしたイベントも行われた。

12月12日定時総会並びに卒業式が行われ7名のメンバーが卒業していった。



鯉の放流  
「コイのすめるきれいな川に」



シユワッチリウルトラマンとジャンケン「お祭り広場」

1985 (昭和60年)

会員数48名

34代理事長

菊池 正



菊池正理事長は基本方針に『会員の拡大と人材育成』をトップにあげた。というのも今後5年間で約20名のメンバーが卒業していくという現実があったからだ。それは決して質より量を重んじるわけではなくJCの活動をより多くの人々に理解していただく為にも、又八幡浜JCの伝統と事業を継続していく為にも、会員の拡大は急務であった。

又、この年は八幡浜市制50周年と重なり八幡浜青年会議所も『市制50周年特別委員会』を設置しポーランドサーカスを招聘した。



ポーランドサーカスを招聘

市民会館という屋内でのサーカス公演であったが、日頃接する事のできないイベントということでかなりの反響があった。この年の副会頭である田舞徳太郎氏が来訪され「あたご」で講演会を開いた。メンバーとも夜遅くまで語り明かしJCの話はもちろん、仕事、家庭、全てにおいて経験豊かな田舞副会頭の話は聞くことができた。

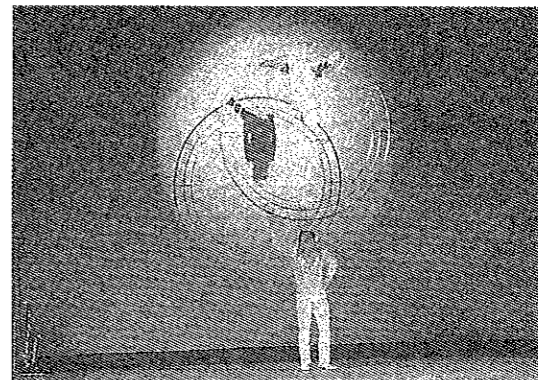
又この年は、『国際青年年』にも重なり、青少年開発委員会で昨年行った、市民アンケートをもとに『ヤングフェスティバル』を計画、10月8日『竜童組コンサート』を行った。



定時総会並びに卒業式  
清水氏、菊池氏卒業

JCがタレントを呼んでのコンサートをするということで色々な意見があったが、先にも書いているように市民アンケートに『青年のためのコンサート』という希望が多く、一般の青年達をスタッフという形で巻き込んで行われた。

後、八幡浜の新たやてや踊りとなる『TEYA TEYA I WANT YOU』の引き金にもなるコンサートであった。



ポーランドサーカス招聘  
市民会館大ホールにて

八西地区ニューメディア地域として国から指定を受けたということもありニューメディア勉強会が頻繁に行われた。その成果が10月のお祭り村に『ニューメディア フェア』ということで新技術の展示を中心に行われた。お祭り広場では『第2回史上最大YES, NOクイズ』が行われ昨年同様5000人以上の市民参加で盛り上がった。

又「委員会活動の中で、大いに議論し、共に行動することにより、お互いの友情の輪を広げ、自らのリーダーシップを磨くべきであるという事から、委員会活動は本来JCの活動の根幹をなすものである」という菊池理事長の基本方針のもと、この年は委員会事業計画の期間を例年より延長して、3月に事業計画を決定しその間より多くの検討を重ねることにより、過去のパターンに囚われず、新鮮で、青年らしい事業の展開を望まれた。

12月14日定時総会並びに卒業式が行われ2名のメンバーが卒業していった。



ポーランドサーカス招聘準備の途中で記念撮影



竜童組コンサート市民会館大ホール